

平成 29 年度調査研究事業報告

1 当初計画

平成 29 年 3 月 10 日に開催した平成 28 年度第 3 回千葉市史跡保存整備委員会で、以下の 3 点を計画として示したほか、他の貝塚の発掘調査、出土資料の整理も計画的に進めていくこととした。

(1) 加曽利貝塚の発掘調査計画の策定

- ・史跡加曽利貝塚調査研究部会を設置し、中長期的な発掘調査計画を策定する。
- ・計画策定のため、レーザー測量による微地形測量を行うとともに、地中レーダー探査により貝層・遺構、過去の調査トレンチ等の把握を行う。

(2) 加曽利貝塚の発掘調査の着手

- ・調査研究部会での検討および文化庁との協議を踏まえ、発掘調査に着手する。
- ・発掘調査および基礎整理の過程を公開し、定期的に見学会を開催する。

(3) 縄文土器製作技術研究の充実

- ・平成 27 年度から専任の非常勤嘱託研究員を置いて着手し、加曽利貝塚博物館での企画展示や『貝塚博物館研究紀要』への成果の掲載などを進めてきた。
- ・平成 29 年度は後期から晩期の土器の分析・研究を進め、その成果の活用を検討していく。

2 実施内容

(1) 加曽利貝塚に関する調査研究

ア 発掘調査

- ・別途「資料 2」により報告する。
- ・なお、発掘調査に先立ち、遺跡全体に対して新たなグリッドシステムを設定し、平成 29 年度の調査範囲周辺に対して基準杭を設置した。

イ 微地形測量および地中レーダー探査

- ・中長期的な発掘調査計画を策定するための基礎データの収集を目的に、以下の事業を行った。
 - ①地中レーダー探査 8 月 4 日～10 月 31 日（現地作業：8 月 6 日～8 月 19 日）
 - ・早稲田大学考古学研究室（考古学コース）の学部学生の野外実習を兼ねて実施した。
 - ・南貝塚の平成 29 年度調査範囲周辺（3,500 m²）および北貝塚の一部（3,200 m²）を対象に、三次元地形測量（約 20 cm 間隔の点群で把握し、10 cm 間隔の等高線を抽出）を行うとともに、地中レーダー探査（GPR）による貝層・遺構、過去の調査トレンチ等の推定を行った。
 - ②レーザー測量による微地形測量 1 月 19 日～3 月 30 日（予定）
 - ・史跡範囲全域（15.1ha）を対象に、現在実施中。

ウ 関連資料収集

- ・将来的に新博物館または研究所で公開する準備として、総括報告書の作成のために収集してきた資料を整理し、台帳へ登録した。また、新たに確認した資料の追加を行った。

【対象資料】①加曽利貝塚の歴史に関わる資料

（保存運動に関する資料、報道・広報関連資料、国会および県・市議会の議事録、武田宗久氏に関する資料など）

②加曽利貝塚博物館・埋蔵文化財調査センター等の普及事業に関する資料

（展示関連資料、講座配布資料、博物館関連 3 団体に関する資料など）

- ・収集してきた資料をもとに加曽利貝塚博物館で武田宗久氏に関する企画展示を開催した。
企画展「貝塚の守り人 武田宗久」平成 29 年 11 月 3 日～平成 30 年 3 月 4 日

(2) 縄文土器の製作技術に関する調査研究

- ・後・晩期の土器製作技術の分析研究を進め、その成果の活用について検討した。
- ・加曽利貝塚の総括報告書の作成事業が終了したため、掲載資料の観察に着手した。主な新知見は以下のとおり。
 - ①堀之内式期に特徴的な粘土紐積み上げ時の刻み痕が加曽利EⅡ式～Ⅲ式期でも確認できた。
 - ②底部の成形に土器片を再利用した例を確認した。
- ・平成30年度以降、加曽利貝塚博物館及び埋蔵文化財調査センターの展示や普及事業に活用する。

(3) 貝塚に関する調査研究

ア 県内貝塚関連資料収集

- ・千葉県内貝塚一覧・分布図・文献一覧と関連報告書のコピー等を収集した。
- ・千葉県教育委員会が平成28年度から実施している「県内縄文集落・貝塚詳細分布調査事業」においても資料・データの収集を行っており、収集への協力と併せ、その成果を市のデータへも反映させている。

イ 市内主要貝塚研究

- ・昭和40年代から50年代に行われた千葉市史編さん事業や加曽利貝塚博物館による発掘調査事業等に関わる資料、旧県立千葉高校保管資料など、国史跡に指定されている貝塚をはじめとした主要な貝塚の資料が多数、未公開のまま残されている。遺物・記録類の内容の把握と併せ、以下の作業に着手した。
- ・貝サンプルの水洗・選別・分析
 - 【対象遺跡】 月ノ木貝塚・高崎台貝塚・廿五里南貝塚・宝導寺台貝塚ほか
- ・骨角歯牙製品の図化
 - 【対象遺跡】 荒屋敷貝塚・東寺山貝塚・長谷部貝塚・月ノ木貝塚
- ・成果の一部を加曽利貝塚博物館が刊行している『貝塚博物館紀要』に掲載する。また、今後の比較研究や史跡の保存活用計画・整備計画に活かしていく。

ウ 県内の貝塚調査・研究の補助

- ・県内で進められている貝塚の発掘調査、整理作業および報告書刊行、出土資料の分析・研究等の補助を行った。

【対象遺跡】 柏市小山台遺跡B区・市川市雷下遺跡・市原市市原条里制遺跡
(整理作業および報告書刊行 千葉県教育振興財団)

我孫子市下ケ戸貝塚 (我孫子市教育委員会)

松戸市上本郷貝塚 (整理作業・松戸市教育委員会)

習志野市不三戸貝塚 (習志野市教育委員会)

袖ヶ浦市宮ノ越貝塚 (袖ヶ浦市教育委員会)

銚子市余山貝塚 (銚子市教育委員会)

エ 県内の貝塚調査・研究の動向調査

- ・県内で進められている貝塚に関する調査や研究について、現地視察など動向調査を行った。
- ・今後、県内の最新情報を加曽利貝塚博物館および埋蔵文化財調査センターの展示に反映させたい。

【対象遺跡】 市川市道免き谷津遺跡 (整理作業 千葉県教育振興財団)

船橋市取掛西貝塚 (発掘調査・整理作業 船橋市埋蔵文化財調査事務所)

市原市鬼子母神貝塚 (発掘調査・市原市教育委員会)

(4) 共同研究・連携活動

ア 貝塚出土の貝殻成長線分析 (明治大学大学院 坂本匠氏との共同研究)

- ・園生貝塚の剥取り断面および貝サンプルから試料を抽出し、分析を実施した。

イ 加曽利貝塚周辺の古環境の復元および遺跡形成過程 (関東第四紀研究会との連携活動)

- ・加曽利貝塚の東側の谷でボーリング調査を実施し、古環境復元のための資料を採取した。
- ・今年度の発掘調査地点で確認された褐色土の堆積時期等を把握するため、テフラ分析の試料を採取した。